

GC27102

情報メディア特別演習 履修ガイダンス

志築 文太郎 ・ 徳永 隆治
(情報メディア創成学類)

2018/04/20

本科目の案内ページ

[http://www.iplab.cs.tsukuba.ac.jp/~shizuki/l/2018-2019/
media_special/](http://www.iplab.cs.tsukuba.ac.jp/~shizuki/l/2018-2019/media_special/)

※メールで案内したもの
※昨晚も更新したのでキャッシュをクリアすること

- 本科目についての案内は、すべてこのページに掲載する。
- これからの説明は、授業ページとは異なることもありえる。授業ページは定期的に更新するので、そちらの方を随時点検すること。

どのような科目なのか

- 自分で演習テーマを決めて、長期間かけて開発や調査などを行う。
 - 演習を通して何らかの成果物を得る。
 - 完璧な成果物でなくてもよい。演習過程で十分に努力し、しっかりと考察等が行われていれば評価する。
 - 演習内容を、発表やレポートで報告する
 - 論理的で説得力のあるプレゼンテーションの練習
- 「卒研の予行演習」のような側面もある
 - そうでなくてもよい
 - 卒研のような新規性は必ずしも要求されない

アドバイザー教員の役割

- 演習テーマの内容、方向性、詳細化・具体化についての相談・助言
- 関連文献や資料の紹介、講読
- 必要な機材・資源の紹介、提供、指導
- 発表練習やレポートの添削
- 上記のための定期的なゼミ開催等

(教員により多少の違いがある)

- 学生の自主性を重んじる科目なので、学生主導で演習を進めることが期待される。

どんな人に「向いている」科目か

- ぜひ取り組んでみたい課題がある。
- 作ってみたいプログラムがある。
- 普通の授業・演習では物足りない。
- 早く研究 (の一端) に触れてみたい。

実施スケジュール

4/25	TWINS 登録期限
(アドバイザー教員訪問期間)	
5/11	訪問記録シート提出期限(17:00まで)
5/25	アドバイザー教員決定・発表
(以下演習期間)	
10月上旬	中間発表会
12月下旬	最終発表会
1月中・下旬	レポート提出

履修手順(1): TWINS 登録

- 履修希望者(予定者)は、4/25の登録期限までに本科目を TWINS 登録すること
 - 未登録の場合は、原則として履修を認めない。
- 登録抹消
履修登録の抹消を認める場合については「決定プロセス(2)」で説明する。

履修手順(2): 教員訪問

- アドバイザ候補の教員を訪問して面談する(4/23～5/11)
 - 必ず事前にアポイントメントをとる(電子メールがお勧め)
 - 希望する分野・テーマを訪問シートに記入しておく(教員に応じて内容は違ってよい)
 - 実現可能性、方向性、予備知識などについて相談する
 - 希望順位は教員には知らせなくてよい
- 自分の希望に沿う教員をできるだけ多く訪問する。
- 場合によっては再訪問を求められることもある。
- できれば数人で連れだって訪問する。
(これについては教員の指示にしたがう)

履修手順(3): 訪問シートの提出

- アドバイザ教員が署名した訪問シートを提出
(期限: 5/11(金) 17:00厳守)
 - 春日教務に提出用の箱を用意
- 原則として訪問シートは第3希望まで(=3枚)を提出する。
 - ただし、希望するアドバイザ教員が3人に満たない場合には、第2ないし第1希望までの提出も例外的に認める(その場合の扱いについては後述)
 - 訪問シートは、まとめて提出すること

履修手順(4)： 決定プロセス

- 訪問シート提出後、世話人教員でアドバイザー教員への割り当てを行う。
 - 第1希望から順に、希望教員に割り当てる；
 - 教員の定員(1人あたり最大3名)を超える希望者があった場合には「ランダムに」選出する；
 - 第1希望にはずれた場合、第2、第3希望にしたがって同様に割り当てを行っていく。
- 上記によってもアドバイザー教員が決まらない場合は、次のページで説明する。

履修手順(5): 決定プロセス(2)

- 前ページによりアドバイザー教員が決定しない学生については以下のように扱う。
 - 第1・2希望までしか提出していない場合
希望教員以外での履修意志はないものと判断し、「履修せず」として扱う。
 - 第3希望まで提出している場合
世話人が該当学生と個別に相談し、定員に余裕のある教員への再訪問を行って決定する。
- 「履修せず」となった場合、TWINS 登録抹消を認める。
(単位キャップや GPA などとの関連)
 - 訪問教員の誰からも署名をもらえなかった場合には、その旨を世話人に報告すること。
 - 学生が自己都合で辞退する場合には、原則として登録抹消は認めない。

履修手順(6): アドバイザ教員決定

- アドバイザ教員の決定については、5月25日(予定)に発表する。
- 決定後はすぐに演習を開始すること。
 - 具体的な日時・方法については各アドバイザ教員と相談して決める。
 - また実際の演習内容についても随時アドバイザ教員と相談して進める。
 - **定期的に連絡し、経過報告を行うこと!**

実施スケジュール

4/25	TWINS 登録期限
(アドバイザー教員訪問期間)	
5/11	訪問記録シート提出期限(17:00まで)
5/25	アドバイザー教員決定・発表
(以下演習期間)	
10月上旬	中間発表会
12月下旬	最終発表会
1月中・下旬	レポート提出

履修手順(7): 発表、レポート

(以下の期日は決まり次第Webページに公開する)

- 中間発表
 - それまでの経過の途中報告、今後の計画
 - 時間はひとり5分程度
- 最終発表
 - 得られた成果についての報告・考察、今後の展望
 - 時間は可能な限り中間発表よりは長めにとる
- レポート提出
 - 演習全体についてまとめたレポートを提出する
 - 分量に制限は無いが、A4で3～5枚程度が目安
 - 提出方法は後日連絡する

成績評価

- レポート提出は必須。
 - 未提出の場合には無条件で D
- 中間発表、最終発表も必ず行うこと。
 - 特別な事情で当日発表できない場合は、別途対応する(他日に発表など)
 - アルバイト等の自己都合による欠席は認めない
- 成績は、発表、レポート、演習中の平常点に応じてアドバイザー教員が評価し、世話人が総括する。

補記：「総合演習」について

- シラバスなどの記載に「総合演習」という言葉が出てくるが、これはほとんどの学生には関係ないので無視してよい。
- 参考：旧教職課程では「総合演習」の履修が必要だったが、現在は存在しない科目。これが必要になるのは平成21年度以前の入学者で、教職免許取得を希望する者。

創房利用テーマ・創房大賞について

※2018年度からの試み

Openfab創房を利用した「ものづくり」を行うテーマを奨励します(創房大賞へのエントリーも可能)

※アドバイス可能な教員の欄には印がついているが他の教員もアドバイスできる可能性あり(教員に相談すること)。

- 限度額

学生1人あたり5000円(自己負担でもっと利用可)

- 注意

- 現時点で自分のテーマが「創房利用テーマ」である場合にはその旨「アドバイザ訪問シート」に記入すること。ただし、後日、アドバイザ教員と相談の上、創房を利用することにしても良い。※届出不要

- 創房利用テーマにおいて3Dプリンターとレーザー加工機を利用する際には創房において料金を記録する際に「特別演習」と記入すること。詳しくは創房のTAの方の指示に従うこと。創房利用時には創房のルールに従うこと。